「ちょっとした声かけ」②

年　　　　組　　　　番

氏名

１　こんな場面での声かけを考えてみよう。　【Ａ：手助けする人　　Ｂ：困っている人】

（１）〔場面１〕Bさんは白杖を持って，交差点できょろきょろしています。

Ａさん：〔Ｂさんの様子を見て，ゆっくり近づいて声をかけた。〕「（①）」【い】

Ｂさん：「郵便局に行きたいのですが，迷ってしまって。」

Ａさん：「私も同じ方向なので，よかったら郵便局まで（②）」【な】

Ｂさん：「ありがとうございます。助かります」

Ａさん：「どうしたらいいですか？」

Ｂさん：「あなたのひじを持たせてもらっていいですか？」

Ａさん：「（③）【り】。いいですよ。どうぞ」

|  |  |
| --- | --- |
| ① | ② |
| ③ |

（２）〔場面２〕Ｂさんは６か月の子ども（ベビーカーに乗っている）と一緒に，祖母に合うために田舎の駅に着きました。どうやらこの駅は無人駅で，エレベーターもありません。

Ｂさん：〔階段の前で困っている様子〕

　Ａさん：「（①）」【い】

　Ｂさん：「ありがとうございます。エレベーターがなくてどうしようかと思っていました。」

　Ａさん：「（②）」【な】

　Ｂさん：「はい，お願いします」

　Ａさん：「分かりました。（③）」【り】〔ベビーカーを持って階段を下りる〕

　Ｂさん：「助かりました。ありがとうございました」

|  |
| --- |
| ① |
| ② |
| ③ |